

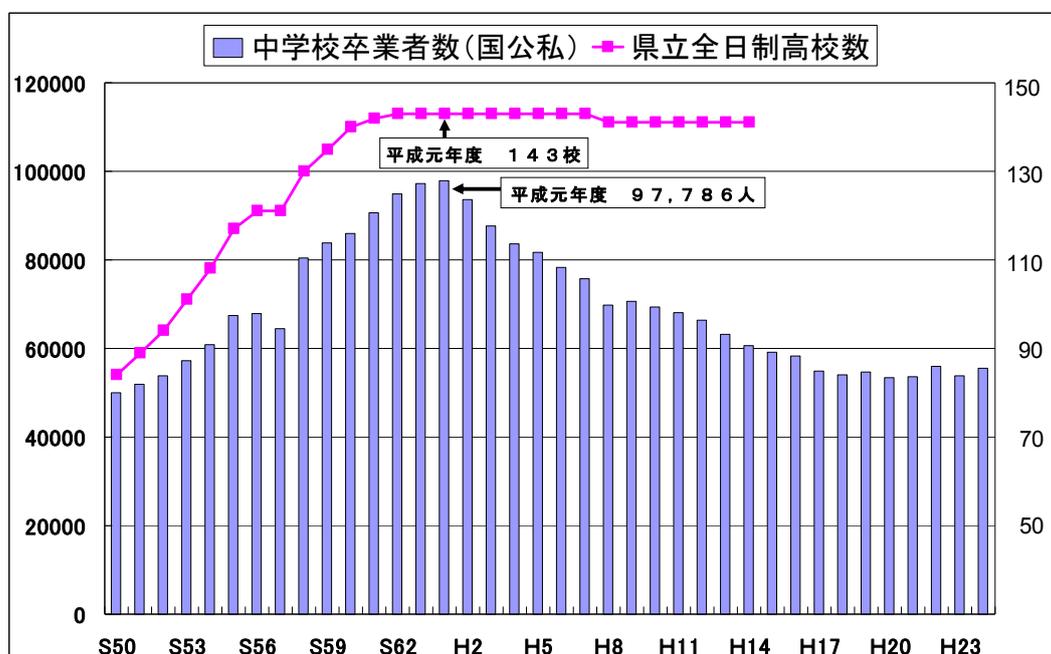
1. 「県立高等学校再編計画」(H14～H23)の基本的な考え方

県教育委員会は、中学校卒業生数の減少、高度情報化社会の進展、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望などの多様化等に対応するため、平成23年度末を目標年次として、平成14年11月に「県立高等学校再編計画（現行再編計画）」を策定した。

また、具体的な実施プログラムを3期に分け、県立高校の再編・改革を段階的に進めてきた。

- 第1期実施プログラム：平成14年11月策定
- 第2期実施プログラム：平成16年5月策定
- 第3期実施プログラム：平成18年12月策定

《平成14年当時の推計》



《中学校卒業生数と県立高校数（昭和40年～平成14年）》

年 月	中卒者数	進学率	※県立高校数
S40.3	59,441人	67.0%	62校
S50.3	49,934人	90.9%	84校
S60.3	85,920人	94.7%	141校
H元.3	97,786人	94.3%	144校
H10.3	69,283人	96.4%	*142校
H14.3	60,647人	96.8%	142校

※ 県立高校数は、各年4月1日現在の数

* 平成8年度に幕張3校が統合し、幕張総合高校となったことで、2校減となった。

【基本的コンセプト】 目指すべき県立高等学校像

- (1) 生徒がその個性を最大限に生かせ、夢の実現に一役買ってくれる学校
- (2) 生徒や教職員が生き生きと活動して、元気のある学校
- (3) 地域の人が集い、地域に愛される学校

(1) 生徒がその個性を最大限に生かせ、夢の実現に一役買ってくれる学校

- ① 基礎・基本の確実な定着、学力の向上、創造力の伸長等を目指し、多様な学習活動を行う。
- ② 学校選択や教科・科目選択の幅の拡大を図り、生徒一人一人の能力・適性や進路希望等に対応できる高等学校づくりを行う。
- ③ 高い学力に裏付けられた思考力・実践力などをもち、高い志をもって社会的責任を果たせる、次代のリーダーの育成を行う。
- ④ 学習意欲のある生徒をいつでも高等学校に受け入れられるよう、「やり直し」のきく柔軟な学校システムを構築する。

(2) 生徒や教職員が生き生きと活動して、元気のある学校

- ① 生徒が自ら学び考え、わかるできる喜びを実感できるとともに、教職員も働きがいを感じ、自信と誇りや意欲を持って教育活動に当たる学校づくりを行う。
- ② 各学校が自らの創意工夫により切磋琢磨し、生徒が主体性を持って学校生活を送ることができる環境づくりを行う。

(3) 地域の人が集い、地域に愛される学校

- ① 地域や家庭とともに教育を進めていくために、県民に信頼され、身近で愛されるよう開かれた学校づくりを進める。
- ② 県民の生涯学習ニーズに応えられる、「地域の学習センター」としての役割を果たす学校づくりを進める。
- ③ 学校の教育力を地域へ提供する。

【再編の方向性】

- (1) 学校規模や配置の適正化
- (2) 「やり直しのきくシステム」の構築
- (3) 学校の再編・学科の再構成
- (4) 選択幅の拡大
- (5) 開かれた学校づくり
- (6) 施設・設備の有効活用
- (7) 入学者選抜方法の工夫と改善